

## 別紙第 2 様式

## 医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名 *	社会医療法人 若弘会 若草第一病院 リハビリテーション課
研究課題名 *	血液内科疾患におけるがんのリハビリテーションの効果についての研究
所属科 *	リハビリテーション課
研究責任者 *	玉村 悠介
研究実施期間	開始 西暦 2024 年 12 月 1 日 ~ 終了 西暦 2026 年 3 月 31 日 (予定)
対象疾患 (予定症例数)	2024 年 12 月 1 日~2026 年 3 月 31 日までに北 3 病棟に入院した患者で、血液内科疾患でがんリハを算定した患者
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 年 月 日 ~ 至 西暦 年 月 日
研究概要 *	<p><b>【動機】</b> 2024 年 12 月より血液内科病棟が運用開始された。血液内科疾患の患者で、特に当院血液内科が対象としている多発性骨髄腫などのがん患者のリハビリテーション効果は先行研究が少ない。今後、これらの患者のリハ成果を外部に発信するとともに、若草第一のがんのリハビリテーションの質向上に繋げていくこと。</p> <p><b>【目的】</b> 血液内科疾患におけるがんのリハビリテーション治療効果を明らかにし、標準的なリハビリテーション治療プログラムの作成に繋げること。</p> <p><b>【背景】</b> 日本リハ医学会の「がんのリハビリテーションガイドライン」において、血液腫瘍領域のガイドラインは主に幹細胞移植が実施された患者を対象としている。また、化学療法や放射線療法領域のリハビリテーションも「グレード 1 B、強い推奨」とされているものの、その引用文献は前立腺がんや乳がん患者の研究も含まれており、白血病患者や多発性骨髄腫に限った研究報告は少ない。これらの患者は抗がん剤の副作用によって活動量が低下するリスクを有している。さらに、疾患特性上クリーンルームにて治療される患者においては生活スペースがクリーンルーム内に限定されることから、より身体機能の低下リスクが高まることが予測</p>

	<p>される。しかしながら、血液がん患者において、クリーンルーム内のリハビリテーション治療を含む身体機能を維持するための具体的な運動プログラムについては十分に検討されていない。よって、本研究では血液内科疾患におけるがんのリハビリテーション治療効果を明らかにし、標準的なリハビリテーション治療プログラムの作成に繋げることを目的とした。</p> <p><b>【研究方法】</b></p> <p>1 研究デザイン：後向き観察研究</p> <p>2 対象及び期間  対象：若草第一病院北3病棟に血液内科に入院し、がんのリハビリテーション算定料にてリハビリテーションを実施した患者  期間：2024年12月～2026年3月を予定</p> <p>3 方法  ① 対象者の入退院時に身体機能、認知機能評価を実施。  ② 身体機能が維持できた群と低下した群の特性を比較。  ③ 身体機能低下に関連する因子の検討</p> <p>4 収集データ  診療録より得られる臨床データ（年齢、身長、体重など）</p> <p>5 リハビリテーション評価項目  入院前フレイルスコア、握力、大腿四頭筋筋力、Short Physical Performance Battery、呼吸機能検査、Mini Mental State Examination、ADL 指標（Barthel Index, FIM）など</p>
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について *	データは当院電子カルテ内で保管し、評価結果は研究目的以外には使用しない。 本研究で実施するリハビリテーション評価はすべて非侵襲的な検査であり、標準的なリハビリテーション評価として当院でも実施している検査であり、安全性は確保されている。 発表に関する同意についてはオプトアウト方式を用いており、当院でも掲示されている（書式登録番号：情043）。
研究の問い合わせ先*	若草第一病院 リハビリテーション課 代表者 玉村 悠介 電話番号：072-988-1409

\* 記入必須項目